

【パリ 2024 パラリンピック競技大会 選手コメント 9月4日】

◆女子砲丸投げ(F46 クラス) 決勝

齋藤由希子(SMBC 日興証券) 「楽しかったです。パラリンピックの雰囲気や不安感、プレッシャー全部含めて体験できて楽しく競技することができました。最後の押切りがはまる投てきが無かったことが反省で、その感覚が1本戻ればと思ったが戻らず、最後は技術面とかではなく自分を信じて投げたのが6投目だった。それまで細かい修正はかけたが、自分の良いところも悪いところもでた今大会でした。出産して昨年のパリ世界選手権の方が子供と離れることに不安を感じていたが、今大会は競技に対して向き合うことができ夫にも感謝だし、自分でもここまでメンタルを持ってこれたことは良く頑張ったなと思います。」

◆男子 100m(車いす・T54)予選

生馬知季(GROP SINCERITE WORLD-AC) 「悔しい気持ちしかないです。普段から走りの安定性が低いのは自分でも感じていたが、今回は特に、終始フロントが左右にぶれてしまってしっかり自分の出力をうまく伝えられなかった。自分のメンタル部分が大きかった。この大舞台に気持ちがのまれてしまった」

◆女子 100m(視覚障がい・T12)予選

澤田優蘭(エントリー)&塩川竜平ガイド 「動いているなという感覚はありました。前半の意識は良かったけども後半リズムが崩れた。苦しい走りをしてしまったかな。(ユニバーサルリレーについては)前半の走りから加速、大きな走りをしていくことをしっかり意識したい」